

創立六十周年記念誌



横須賀危険物安全協会

目 次

1. あいさつ	会長 大庭 大	P. 1
2. 祝 辞	横須賀市長 上地 克明	P. 2
	横須賀市消防局長 小山 幸男	P. 3
3. 創立 60 周年記念表彰受賞者		P. 4 ～ 6
4. 創立 60 周年記念式典および祝賀会風景		P. 7 ～10
5. 創立 60 周年記念寄贈品紹介		P. 11
6. 横須賀危険物安全協会 1 年間の活動		P. 12～15
7. 60 年のあゆみ		P. 16～20
8. 歴代会長		P. 21
9. 会則		P. 22～25
10. 役員名簿		P. 26～27
11. 会員名簿		P. 28～35
12. 創立 60 周年記念事業実行委員会 委員名簿		P. 36



田浦梅の里から東京湾を望む（写真提供 横須賀市）



横須賀危険物安全協会 会長 大庭 大

横須賀危険物安全協会の創立 60 周年記念誌の発刊に際し、協会を代表いたしまして、ご挨拶を申し上げます。

当協会は、本年で 60 周年を迎えることとなりました。これもひとえに、歴代会長をはじめとする諸先輩会員の皆様のご尽力と、横須賀市消防局をはじめとする関係機関の皆様の指導、ご支援の賜物であると、深く感謝申し上げます。

当協会が発足した昭和 40 年代前半は、エネルギーの主役が石炭から石油へと移行する、まさにその最中でありました。その後、社会全体の経済発展に伴って、大気汚染や地球温暖化などの環境問題が提起されるようになり、法規制も強化されてきました。また、経済の発展は新たな技術を生み出し、社会をさらに発展させてきましたが、それと同時にそれまでは存在しなかった危険をも生み出しました。

それに加え、近年は大規模な自然災害が全国で多発しています。地震や津波のほか、豪雨の影響により危険物施設に甚大な被害を及ぼす事故も発生しています。さらに大規模な林野火災も頻発しており、新たな課題とされています。

私たちのような危険物を取り扱う事業者は、これらの課題に対してしっかりと取り組むことが求められています。そしてそれは、地域社会とのつながりを大切にこそ、達成が可能になるものだと思います。

当協会は、地域に根差した団体として誕生しました。そして関係機関の皆様のご指導のもと、各会員事業所で知恵を出し合い協力して危険物保安に取り組むことで、大きな事故を発生させることなく、激動の 60 年間を乗り越えてきました。

私たちは、この先 70 年、80 年、さらにその先の未来に向かって、引き続き会員相互で協力して危険物に起因する災害を防止し、地域の安全に貢献していく所存です。関係機関の皆様におかれましては、引き続きご指導、ご支援を賜りたく、心からお願い申し上げます。

最後になりますが、会員事業所の皆様並びに関係機関の皆様の益々のご発展を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

創立 60 周年を祝して



横須賀市長 上地 克明

横須賀危険物安全協会が創立 60 周年という記念すべき節目を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

貴会は昭和 41 年の創立以来、危険物の安全管理体制の確立のため、長きにわたりご尽力いただいております。大庭会長をはじめ歴代の会長及び会員の皆様に深く敬意を表しますとともに、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

さて、これまで皆様は、様々な講習会や視察、啓発活動などを通じて、危険物の取り扱いに関する知識の普及や安全管理の徹底、事故防止に向けた活動を推進され、地域の安全・安心に大きく貢献されてきました。また、毎年、小学生向けの防火・防災クリアファイルを寄贈いただいているほか、本年は、広報用懸垂幕と法被も寄贈いただきました。子どもから大人まで幅広い世代の防火・防災への関心を高める取り組みに多大なお力添えをいただいておりますことに、改めまして深く感謝を申し上げます。

危険物の取り扱いや安全意識の向上には、日常点検の確実な実施、定められた手順の順守といった基本の徹底が欠かせません。まさに皆様の日々のご活動の積み重ねこそが、市民の暮らしを守り、災害の未然防止と地域の安全を支える大きな力となっているものと、大変心強く感じております。

横須賀市では、「誰も一人にさせないまち」の実現に向け、誰もが安心して暮らすことのできる環境づくりに取り組んでおります。その実現には、行政の力だけでなく、長年培われた豊富な経験や知識をもって、地域を支えてこられた皆様との連携が不可欠です。今後も横須賀市は、横須賀危険物安全協会の皆様と手を携えながら、より安全で安心なまちづくりを共に進めてまいりますので、引き続き変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この度の創立 60 周年を契機として、横須賀危険物安全協会がこれまで培われた歴史を礎に、更なる発展を遂げられますことを祈念いたしますとともに、会員の皆様のますますのご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉いたします。

このたびは、誠におめでとうございます。

創立 60 周年に寄せて



横須賀市消防局長 小山 幸男

横須賀危険物安全協会が創立 60 周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

貴協会におかれましては、昭和 41 年 5 月の創立以来、長きにわたり、危険物に関する安全意識の普及・啓発活動や地域社会の安全確保に継続して取り組まれており、深く敬意を表します。

また、危険物安全週間、秋季・春季の火災予防運動などの機会に、積極的に火災予防の啓発活動にご協力をいただくなど、消防行政に対し多大なるご支援とご協力を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。

特に、会員事業所の皆さまにおかれましては、日頃から危険物の適正な取扱いと保安管理の徹底に努めていただいております、そのご努力により、地域の安全・安心が支えられております。昨年度も、本市では危険物に起因する大きな火災・流出事故は発生しておらず、重ねて敬意を表する次第です。

さて、近年の全国における危険物情勢を顧みますと、危険物施設は減少傾向にある一方で、事故発生件数は依然として高い水準で推移しております。事故の多くは、わずかな不注意や確認不足を契機として発生し、設備の不備や初動対応の遅れにより、被害が拡大する例も少なくありません。安全意識の継続的な醸成が何より重要です。

加えて、国際情勢の不安定化により、エネルギーや危険物を取り巻く環境にも大きな影響が及んでおります。とりわけ、中東地域における緊張の高まりやホルムズ海峡をめぐる情勢は、原油や危険物の安定供給、物流の確保、さらには地域経済や市民生活にも少なからず影響を及ぼすおそれがあります。こうした時代だからこそ、保安体制の強化と平時からの備えが重要です。

災害や事故はますます大規模化・複雑化しており、消防防災行政を取り巻く環境も大きく変化しております。こうした時代の要請に的確に対応し、市民の生命、身体及び財産を守ることは、私ども消防局に課せられた重要な使命であります。

当消防局といたしましては、今後も関係機関との連携を密にし、あらゆる災害に対応できる消防体制の確立に向け、職員一丸となって取り組んでまいります。どうぞ貴協会におかれましても、引き続き安全思想の普及・啓発にご尽力を賜りますとともに、消防行政に対し、なお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、横須賀危険物安全協会のますますのご発展と、会員の皆さまのご健勝とご繁栄を心から祈念申し上げ、創立 60 周年のお祝いのあいさつといたします。

創立 60 周年記念表彰 受賞者

横須賀市長表彰

区分	受賞者
団体	学校法人神奈川歯科大学
	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院

横須賀市消防局長表彰

区分	受賞者
団体	社会福祉法人 聖テレジア会 聖ヨゼフ病院
	社会福祉法人日本医療伝道会 総合病院 衣笠病院

一般財団法人全国危険物安全協会理事長表彰

区分	受賞者
団体	横須賀危険物安全協会

関東甲信越地区危険物安全協会連合会会長表彰

区分	受賞者
個人	関東化成工業株式会社 小橋 浩輔
団体	馬淵物流株式会社

一般社団法人神奈川県危険物安全協会連合会会長表彰

区分	受賞者
団体	サカエ株式会社
	株式会社サンユー防災

横須賀危険物安全協会会長表彰

区分	受賞者
個人	学校法人神奈川歯科大学 菅原 光則
	社会福祉法人日本医療伝道会 総合病院 衣笠病院 二階堂 示範
	社会福祉法人阿部睦会 共楽荘 阿部 吉朗
	横須賀市東部漁業協同組合 横須賀支所 我妻 和也
	株式会社富士オイル 山川 芳晴
	株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン 蓮池 充
	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院 中島 薫
	シンジーテック株式会社 横須賀事業場 渡邊 佳子
	株式会社西村企業冠婚事業部 よこすか平安閣 中川 陽一
	医療法人徳洲会 湘南病院 丹羽 誠
	一般財団法人電力中央研究所 横須賀運営センター 高橋 誠
	住友重機械工業株式会社 横須賀製造所 浦賀工場 福永 安雄
団体	曙機械株式会社
	株式会社イシカワ製作所
	いずみサポート株式会社 神奈川支社
	入野機工株式会社
	上原塗装工業株式会社
	有限会社大城水産運輸
	有限会社大津はっとり
	岡タクシー有限会社
	合資会社蒲谷商店
	衣笠石油株式会社
	グッドライフサーラ関東株式会社南関東支店横須賀営業所
	久里浜石油有限会社
	株式会社久里浜中央会館 久里浜中央自動車学校
	京浜発條株式会社
	有限会社桜井商店
	株式会社 J E R A 横須賀火力発電所

横須賀危険物安全協会会長表彰

区分	受賞者
団体	有限会社島原米酒店
	株式会社シュテルン世田谷
	湘南漁業協同組合 佐島支所
	湘南サニーサイドマリーナ株式会社
	湘南ダイハツ株式会社
	株式会社湘南マツダ 横須賀店
	有限会社セイキ印刷所
	関矢産業株式会社 横須賀ドライビングスクール
	有限会社たけふじ（セブンイレブン船越店）
	株式会社花崎造船所
	秩父屋吉岡米酒店
	東光商事株式会社
	株式会社東洋ランドリー
	船越タクシー株式会社
	芙蓉交通株式会社
	プラウドライフ株式会社 はなことば追浜
	株式会社北斗工業
	堀硝子株式会社 横須賀事業所
	三野商店
	美豊商事株式会社 関東第2支店
	メルキュール横須賀
	株式会社ヤマリア
	ユニプレス株式会社 栃木工場追浜
	一般社団法人横須賀市歯科医師会
	横須賀市東部漁業協同組合 浦賀久比里支所
	横須賀市東部漁業協同組合 鴨居支所
	横須賀市東部漁業協同組合 走水大津支所
	横須賀地区貨物自動車協同組合
	リカーショップいしがみ

創立 60 周年記念式典 風景



開式前



開会の辞 八巻敏博副会長



式辞 大庭大会長



横須賀市長表彰



横須賀市消防局長表彰



一般財団法人全国危険物安全協会
理事長表彰



関東甲信越地区危険物安全協会連合会
会長表彰



一般社団法人神奈川県危険物安全協会
連合会会長表彰



横須賀危険物安全協会会長表彰



記念品贈呈（懸垂幕）



寄贈品贈呈（法被）



来賓祝辞 平澤和宏副市長



来賓祝辞 加藤真道市議会議員



受賞者代表謝辞



受賞者代表謝辞



閉会の辞 榎本心副会長



記念撮影

創立 60 周年記念祝賀会 風景



開会の辞 高橋拓海副会長



会長あいさつ 大庭大会長



来賓祝辞 大野忠之教育安全常任委員長



乾杯 小山幸男消防局長



記念演奏
vn. 渡邊達徳 pf. 内田祥子 perc. 秋田孝訓



閉会の辞 八巻敏博副会長

創立 60 周年記念 寄贈品紹介

寄贈品① 三連懸垂幕（住宅用火災警報器広報用）

住宅火災による被害を防止するため、住宅用火災警報器の設置や点検の周知を図ることを目的として作成し、横須賀市消防局へ寄贈しました。火災予防運動（秋季・春季）の時期などに、横須賀市役所本庁舎の懸垂幕掲示場（国道 16 号線沿い）に掲出されます。



寄贈品② 法被（防火・防災クラブ員用）

当協会と同じく「防火協力団体」である横須賀市防火・防災クラブ運営協議会の活動を支援するために、イベント・式典用の法被を 3 着寄贈しました。



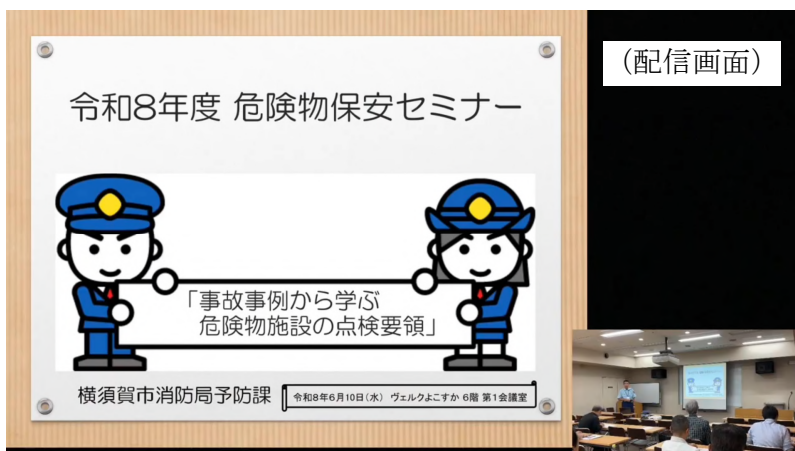
横須賀危険物安全協会 1年間の活動



(4月) 地域貢献活動の一環として、久里浜少年院に対して危険物試験対策用テキストを寄贈しています。



(5月) 小学3年生を対象に各消防署が実施している「防火教室」を支援するため、「防火・防災クリアファイル」を市教育委員会へ寄贈しています。



(6月) 危険物安全週間に際して、会員事業所で行う定期点検や自主点検を推進するため、「危険物保安セミナー」を対面及び配信で開催しています。



(9月・12月) 救急講習会を年2回開催し、応急手当の普及に努めています。



(10月) 県内外の先進工場等の視察を行い自主保安推進の一助とするとともに、会員相互の親睦を図っています。



(2月) 地域防災力の充実強化に資するため、外部の有識者等を招いて「防災講演会」を開催しています。



(3月) 会報「防災よこすか」を年1回発行しています。



(11月・3月) 秋季・春季火災予防運動の期間中、商業施設や駅前等において、消防局、消防団、防火・防災クラブ等と協力して防火広報を実施しています。



(通年) 市内で開催される様々な集客イベントにブース出展し、消防局と協力して防火広報を行っています。



(通年) 消防署員や消防団員がこども園などを対象に行う「幼児防火教室」について、火災予防啓発活動の一環として園児に折り紙などの記念品を贈り、支援しています。

60年のあゆみ

- 昭和 36 年 6 月 米が浜危険物安全協会設立 初代会長に丸山条治氏が就任
この年の 3 月に消防法施行令が制定され現在の法体系が確立された。
- 昭和 37 年 9 月 田浦危険物安全協会設立 初代会長に角田栄寧氏が就任
11 月 衣笠危険物安全協会設立 初代会長に井上岩治朗氏が就任
- 昭和 38 年 4 月 3 協会の総意により横須賀危険物安全協会協議会が発足し、発表会が料亭小松で開催された。
4 月 横須賀市文化会館において協議会設立総会が開催され、初代会長に丸山条治氏が就任した。
12 月 秋の火災予防運動に消火競技大会を開催した。女子の部もあり多数の参加者があった。
- 昭和 39 年 6 月 新潟地震が発生。消防本部松本課長が視察し、視察結果説明会が行われた。
7 月 東京勝島倉庫爆発があり、この事故を教訓として危険物安全の日が生まれた。
- 昭和 41 年 2 月 横須賀危険物安全協会起草委員会が発足
4 月 横須賀市文化会館において横須賀危険物安全協会創立総会が開催され、初代会長に丸山条治氏が就任
7 月 岡昌義氏が衣笠支部長に就任
当時、危険物取扱主任者試験予備講習会は消防協会が主催し当協会が代行していた。会場は三笠艦であり国有財産法に基づき許可申請を行っていた。この年は航空機の事故が続発し、多数の死者をだした。
- 昭和 42 年 7 月 表彰取扱規程制定
- 昭和 43 年 5 月 丸山条治氏が会長に就任
11 月 慶弔規程制定
この年の 4 月に十勝沖地震、12 月には 3 億円強奪事件が発生した。
- 昭和 44 年 2 月 丸山条治会長が逝去され、後任に大森正寿氏が会長に就任
当時、電話の普及率が低く、当協会が「火災、救急通報協力の家」の表示板を作成し配布を行った。
- 昭和 45 年 3 月 日本万国博覧会が開催された。
5 月 岡昌義氏が会長に就任
- 昭和 47 年 5 月 角田栄寧氏が会長に就任
5 月 千日デパートビル火災が発生した。
9 月 火災予防旗のデザインを募集し事務局の石川氏が入選した。
12 月 神奈川県危険物安全協会連合会の発起人会設立
- 昭和 48 年 4 月 神奈川県危険物安全協会連合会設立、会長に当協会の角田栄寧氏が就任し、事務局を当協会が担当することになった。
7 月 横山和夫氏が市長に就任
8 月 防火標語を募集し横須賀菱油株式会社石井氏の「慣れるほど怖さを知ろう危険物」が入選した。
- 昭和 49 年 5 月 大森正寿氏が会長に就任
大森正寿会長が神奈川県危険物安全協会連合会の会長に就任
12 月 倉敷市三菱石油水島製油所重油流出事故が発生した。
- 昭和 50 年 12 月 広報誌「あなたも防火のチェックをしよう」配布
石油コンビナート災害防止法制定
- 昭和 51 年 5 月 岡昌義氏が会長に就任
岡昌義会長が神奈川県危険物安全協会連合会の会長に就任

- 10 月 酒田市大火が発生した。
- 昭和 52 年 5 月 市制 70 周年防火展参加
- 昭和 53 年 4 月 田浦支部長角田栄寧氏ご逝去 後任に稲川達氏が就任
- 昭和 54 年 11 月 秋の火災予防運動に三浦一族武者行列を実施
- 昭和 55 年 4 月 三浦基次氏が衣笠支部長に就任
- 8 月 静岡ゴールデン地下街ガス爆発が発生した。
- 昭和 56 年 9 月 危険物保安監督者バッチ作成
- 昭和 57 年 5 月 岡昌義会長が関東甲信越地区危険物安全協会連合会の副会長に就任
- 6 月 岡昌義会長が全国危険物安全協会連合会の副会長に就任
- 昭和 58 年 4 月 神奈川県危険物安全協会連合会 10 周年記念式典開催
当協会が全国危険物安全協会表彰を受賞
- 11 月 会報創刊
- 昭和 59 年 5 月 目黒区柿の木坂で発生したタンクローリー横転炎上事故は、一般住宅にも延焼し社会的に大きな問題となった。
- 昭和 59 年 6 月 横須賀市「はまゆう会館」で危険物安全の日「第 1 回大会」を開催
- 昭和 60 年 10 月 岡昌義会長が消防庁長官賞を受賞
- 昭和 61 年 4 月 岡昌義会長が勲四等瑞宝章を受賞
- 昭和 62 年 5 月 政令及び規則が改正され、給油取扱所の業務が拡大された。
- 8 月 市制 80 周年防火フェア参加
- 昭和 63 年 3 月 自治体消防 40 周年を迎えた。
- 6 月 当協会が消防庁長官表彰を受賞
- 8 月 岡昌義会長ご逝去
- 10 月 岡田正成氏が会長に就任
- 11 月 坂本季蔵氏が米が浜支部長に就任
- 平成 元年 3 月 岡田正成会長が（社）神奈川県危険物安全協会連合会の会長に就任
岡田正成会長が関東甲信越地区危険物安全協会連合会の副会長に就任
- 6 月 岡田正成会長が（財）全国危険物安全協会連合会の監事に就任
- 11 月 「危険物安全の日」の標語を会員より募集し『危険物 扱うあなたが 責任者』に決定した。
田浦支部で火災予防広報画“名画シリーズ”が始まった。
- 平成 2 年 6 月 「危険物安全の日」を変更し『危険物安全週間』制定
- 10 月 秋の火災予防運動に三浦一族武者行列を実施
- 平成 4 年 6 月 高橋重三郎氏が会長に就任
高橋重三郎会長が（社）神奈川県危険物安全協会連合会会長に就任
高橋重三郎会長が関東甲信越地区危険物安全協会連合会副会長に就任
高橋重三郎会長が（財）全国危険物安全協会連合会監事に就任
沢村賢志氏が田浦支部長に就任
- 9 月 田浦支部で創立 30 周年記念式典を開催
- 12 月 衣笠支部で創立 30 周年記念式典を開催
- 平成 5 年 7 月 沢田秀男氏が市長に就任
- 9 月 当協会が神奈川県知事表彰を受賞
- 平成 6 年 4 月 消防本部の機構改革により消防署の名称及び管轄区域が変更された。
- 平成 6 年 6 月 高橋重三郎会長が神奈川県知事表彰を受賞
- 11 月 秋の火災予防運動に三浦一族武者行列を実施
- 平成 7 年 1 月 兵庫県南部地震が発生し、甚大な被害と多数の死傷者が発生した。
- 1 月 兵庫県南部地震の被災地の方々に義援金を送った。
- 3 月 地下鉄サリン事件発生。オウム関連事件が世間を騒がせた。
- 4 月 消防本部の機構改革に伴い支部の名称及び管轄区域を変更
- 平成 8 年 3 月 横須賀市文化会館において創立 30 周年記念式典を開催

- この年、病原性大腸菌「0-157」による食中毒が全国各地で発生した。
- 7 月 顧問の岡田正成氏ご逝去
- 平成 9 年 1 月 ロシア船籍のタンカー「ナホトカ号」が日本海で沈没、重油が大量流出した。
- 6 月 三浦基次副会長が（財）全国危険物安全協会理事長表彰を受賞
- 平成 10 年 4 月 顧客に自ら給油等をさせる給油取扱所（セルフ給油取扱所）に関する技術基準について政令が改正され 4 月 1 日より施行された。
- 4 月 井出作一氏が南支部長に就任
- 5 月 坂本季蔵氏が会長に就任
- 5 月 岡義孝氏が中央支部長に就任
- 6 月 坂本季蔵会長が（社）神奈川県危険物安全協会連合会会長に就任
- 6 月 井出作一南支部長ご逝去
- 7 月 渡辺晴夫氏が南支部長に就任
- 平成 11 年 4 月 岡昌憲氏が南支部長に就任
- 6 月 日産自動車株式会社追浜工場が消防庁長官表彰を受賞
- 9 月 東海村で国内初の臨界事故が発生した。
- 平成 12 年 4 月 島田吉隆氏が北支部長及び副会長に就任
- 5 月 渡辺晴夫氏が会長に就任
- 渡辺晴夫会長が（財）全国危険物安全協会連合会監事に就任
- 6 月 渡辺晴夫会長が（社）神奈川県危険物安全協会連合会会長に就任
- 6 月 市内 47 店舗のガソリンスタンドに消防局が開催する普通救命講習を修了した 94 名の「市民救命士」を配置した。
- 6 月 群馬県尾島町の化学薬品工場でヒドロキシルアミンの爆発事故が発生した。また三宅島が噴火し世間を騒がせた。
- 平成 13 年 3 月 「市民救命士」が「防災まちづくり大賞」として消防庁長官表彰を受賞した。
- 4 月 横須賀市が全国では 28 番目、神奈川県内では初の中核市となった。
- 4 月 中央支部で創立 40 周年記念式典を開催
- 9 月 国内では新宿歌舞伎町の雑居ビル火災が発生し、国外ではニューヨークの航空機テロ災害により甚大な被害と多数の犠牲者を出した。
- 平成 14 年 4 月 消防局新庁舎完成に伴い事務局が移転した。
- 4 月 北支部で創立 40 周年記念式典を開催
- 9 月 渡辺晴夫会長が内閣府防災担当大臣表彰を受賞
- 11 月 南支部で創立 40 周年記念式典を開催
- 平成 15 年 8 月から 9 月にかけて三重県 R D F 発電所爆発火災、ブリヂストン栃木工場タイヤ火災、十勝沖地震による出光興産北海道製油所屋外タンク全面火災等が発生し、危険物施設の火災事故が多発した。
- 平成 16 年 10 月に新潟県中越地震、12 月にはスマトラ沖で M9.0 の大規模地震・津波が発生し多数の犠牲者を出した。
- 平成 17 年 5 月 渡辺晴夫会長が関東甲信越地区危険物安全協会連合会会長に就任
- 7 月 蒲谷亮一氏が市長に就任
- 平成 18 年 4 月 八巻敏博氏が中央支部長に就任
- 5 月 よこすか平安閣において創立 40 周年記念式典を開催
- 平成 19 年 7 月 新潟県中越沖地震が発生。M6.8 を観測した。
- 平成 20 年 5 月 消防法の改正により、危険物流出等の事故の原因調査に関する規定である消防法第 16 条の 3 の 2 が追加された。
- 平成 21 年 6 月 渡辺晴夫会長が消防庁長官表彰を受賞
- 6 月 岡義孝前中央支部長が神奈川県知事表彰を受賞
- 平成 21 年 7 月 吉田雄人氏が市長に就任

- 平成 22 年 6 月 東芝ライテック株式会社が消防庁長官表彰を受賞
- 6 月 危険物の規制に関する規則等の一部を改正する省令等が公布され、設置から一定の年数を経過したものなど腐食のおそれのある地下貯蔵タンクについて、流出防止措置が義務付けられた。
- 平成 23 年 3 月 3 月 11 日に発生した東日本大震災は東北地方を中心に関東地方の太平洋岸にかけて津波等による甚大な被害となった。またこれにより引き起こされた深刻な原子力事故はその恐怖もさることながら、電力不足による広範囲での計画停電の実施と企業や家庭、交通機関等での節電が実行され、原子力発電に頼るエネルギー政策の見直しが議論される契機となった。
- 6 月 岡昌憲副会長が（財）全国危険物安全協会理事長表彰を受賞
- 平成 24 年 4 月 セントラルホテルにおいて中央・北・南支部創立 50 周年記念式典を開催した。
これを契機に機構改革を実施。支部制からブロック制に移行し、事務局は消防局予防課で一本化することとなった。
- 8 月 東日本大震災の津波被害を受け、総務省消防庁より「危険物施設における地震・津波対策に係る予防規程の策定について」が発出され、危険物施設における地震・津波対策の基本的な考え方が示された。
- 平成 25 年 6 月 久里浜少年院に危険物取扱者試験対策テキストを寄贈。この年より新たな事業として市内の社会福祉施設や更生施設等に対し防災用品等の寄贈を行う「地域貢献活動」を開始した。
- 8 月 京都府福知山市の花火大会会場において、ガソリンを貯蔵した携行缶の不適切な取扱いによる火災事故が発生。3 名が死亡、16 人が重傷という大惨事となった。
- 平成 26 年 6 月 株式会社三春商会の益子健一氏が（一財）全国危険物安全協会理事長表彰を受賞
- 9 月 長野県と岐阜県の県境にある御嶽山が噴火。噴火警戒レベル 1 での噴火であったこともあり、登山者 58 名が死亡。日本における戦後最悪の火山災害となった。
- 平成 27 年 9 月 台風 18 号が東海に上陸、日本海側へ本州を縦断。影響で北関東を中心に大雨、宮城県大崎市では渋井川の堤防が、茨城県常総市では鬼怒川の堤防が、それぞれ決壊、甚大な被害をもたらす。
- 平成 28 年 4 月 熊本県熊本地方を震源とする地震が発生。熊本県益城町では震度 7 を観測した。
- 5 月 メルキュールホテル横須賀において創立 50 周年記念式典を開催
創立 50 周年記念事業の一環として「危険物の保安に関する推進標語」の募集を行い、『危険物 正しい理解が 事故を断つ！』に決定した。
横須賀市社会福祉協議会及び協同募金会を通じて、熊本地震の被災地に義援金を送った。
- 平成 29 年 6 月 株式会社富士オイルの高士了氏が（一財）全国危険物安全協会理事長表彰を受賞
- 7 月 上地克明氏が市長に就任
- 7 月 この年から「危険物保安セミナー」の開催を開始した。
- 10 月 渡辺晴夫会長ご逝去
- 12 月 岡昌憲氏が会長に就任
- 平成 30 年 5 月 八巻敏博氏が会長に就任
- 平成 30 年 6 月 住友重機械工業株式会社横須賀製造所が消防庁長官表彰を受賞
- 6 月 八巻敏博会長が（一社）神奈川県危険物安全協会連合会会長に就任

- 7 月 西日本を中心に、豪雨による被害が多発。危険物施設でも多くの事故が発生した。
- 平成 31 年 2 月 この年から「防災講演会」の開催を開始した。
- 令和 元年 7 月 京都市伏見区のアニメーション製作会社で、ガソリン放火により 36 名もの尊い人命が失われる火災が発生した。
- 9～10 月 台風 15 号と 19 号により東日本を中心に甚大な被害が生じた。
- 令和 2 年 2 月 ガソリン詰替販売時における本人確認等が法令で義務化された。
- 3 月 新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大。国内では一斉休校や緊急事態宣言などの措置が講じられた。これ以降、集客イベントの中止が相次ぎ、当協会でも多くの行事が中止、又は書面会議となった。
- 5 月 大庭大氏が会長に就任
- 6 月 よこすか平安閣の市川雅己氏と有限会社津久井浜商事が（一財）全国危険物安全協会理事長表彰を受賞
- 6 月 大庭大会長が（一社）神奈川県危険物安全協会連合会会長に就任
- 9 月 この年から市内の小学 3 年生を対象に「防火・防災クリアファイル」の寄贈を開始した。
- 令和 3 年 6 月 八巻敏博副会長が（一財）全国危険物安全協会理事長表彰を受賞
- 令和 4 年 1 月 横須賀中央大通りで「YOKOSUKA 消防パレード」が初めて開催された。
- 令和 4 年 2 月 防災講演会をオンラインで開催した。
- 3 月 コロナ禍により「消防出初式」の開催が困難となったため、横須賀市役所正庁において「横須賀市消防関係表彰式」が初めて開催された。
- 6 月 危険物保安セミナーをハイブリッド形式（会場での講義をオンラインで同時配信する形式）で初めて開催した。
- 令和 4 年 10 月 「オンライン視察研修」を開催した。
- 令和 5 年 5 月 この年から危険物規制に係る手続きに「電子申請」が導入された。
- 令和 6 年 1 月 元日に能登半島地震が発生。津波や火災による被害も含めて死者・行方不明者合計 722 名、建物被害 20 万棟以上など大きな被害をもたらす。被災地と類似した地形である三浦半島を拠点とする当協会員にとって、重大な教訓となった。
- 5 月 榊本心氏が副会長（北ブロック長）に就任
- 6 月 大庭大会長が（一財）全国危険物安全協会監事に就任
- 令和 7 年 1 月 岡昌憲副会長（南ブロック長）ご逝去
- 2 月 岩手県大船渡市で大規模な林野火災が発生。鎮火まで 40 日以上を要し 3,000ha 以上の林野が消失した。この火災を受けて、全国の市町村で「林野火災警報」等の制度が新設された。
- 5 月 高橋拓海氏が副会長（南ブロック長）に就任
- 令和 8 年 5 月 メルキュール横須賀において創立 60 周年記念式典を開催
- 6 月 池内精工株式会社の丸岡敬典氏が（一財）全国危険物安全協会理事長表彰を受賞
- 7 月 熊本県熊本地方を震源とする地震が発生。熊本県宇城市及び氷川町では震度 7 を観測した。
- 8 月 千葉県内で線状降水帯が発生。豪雨により甚大な被害が生じた。

歴代会長

初代会長	丸山 条治	昭和41年 5月～昭和44年 2月
第2代会長	大森 正寿	昭和44年 2月～昭和45年 5月
第3代会長	岡 昌義	昭和45年 5月～昭和47年 5月
第4代会長	角田 栄寧	昭和47年 5月～昭和49年 5月
第5代会長	大森 正寿	昭和49年 5月～昭和51年 5月
第6代会長	岡 昌義	昭和51年 5月～昭和63年 8月
第7代会長	岡田 正成	昭和63年10月～平成 4年 5月
第8代会長	高橋重三郎	平成 4年 5月～平成10年 5月
第9代会長	坂本 季蔵	平成10年 5月～平成12年 5月
第10代会長	渡辺 晴夫	平成12年 5月～平成29年10月
第11代会長	岡 昌憲	平成29年12月～平成30年 5月
第12代会長	八巻 敏博	平成30年 5月～令和 2年 5月
第13代会長	大庭 大	令和 2年 5月～



野比海岸（写真提供 横須賀市）

横須賀危険物安全協会 会則

制 定 平成 23 年 5 月 11 日
施 行 平成 24 年 4 月 1 日
一部改正 平成 24 年 4 月 23 日
一部改正 令和 元年 5 月 15 日
一部改正 令和 4 年 5 月 12 日
一部改正 令和 7 年 5 月 13 日

第 1 章 総 則

(名 称)

第 1 条 本会は、横須賀危険物安全協会と称する。

(目 的)

第 2 条 本会は、危険物による火災又は事故その他公害防止のため、危険物の安全管理知識及び技術の函養指導並びに会員相互の連携を図ることを目的とする。

(事務局)

第 3 条 本会の事務局を、横須賀市消防局（以下「消防局」という。）予防課におく。

2 事務局に事務局長及び書記をおく。

第 2 章 事 業

(事 業)

第 4 条 本会は、第 2 条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 危険物に関する火災予防のための情報の収集及び消防当局より発せられる指示事項の連絡に関する事項
- (2) 危険物に関する諸般の研究及び調査に関する事項
- (3) 危険物の安全管理の普及宣伝に関する事項
- (4) 危険物取扱従事者に対する危険物の知識及び技術の指導
- (5) 危険物取扱者試験を受けようとする者の準備講習会の開催及び資料のあっせん
- (6) 危険物に係る資料の配布
- (7) 危険物取扱従事者及び会員の表彰並びに関係機関への表彰上申
- (8) 慶弔
- (9) 会報の発行
- (10) その他本会の目的達成のため必要な事項

第 3 章 会 員

(会 員)

第 5 条 本会は、本会の主旨に賛同の有志をもって会員とする。

2 会員の種別は以下のとおりとする。

- (1) 正会員 横須賀市内に所在する事業者のうち、指定数量（危険物の規制に関する政令（昭和34年政令第306号）別表第三に掲げる指定数量をいう。以下同じ）の5分の1以上の危険物を製造し、販売し、貯蔵し又は取り扱う者
 - (2) 特別賛助会員 横須賀市内に所在する事業者のうち、指定数量の5分の1未満の危険物を製造し、販売し、貯蔵し又は取り扱う者
 - (3) 賛助会員 正会員及び特別賛助会員以外の者
- (会費の賦課)

第 6 条 会員は、自らの事業所において製造し、販売し、貯蔵し又は取り扱う危険物の数量等に応じ、会費を納入しなければならない。

2 会費の賦課及び納入方法については、別に規程で定める。

(入会及び退会)

第7条 本会の会員になろうとする者は、当該年度分の会費を添えて会長に届け出なければならない。

2 本会を退会しようとする会員は、あらかじめ会長に届け出なければならない。

3 前項の規定に関わらず、会費の滞納期間が2年以上となった会員は、退会したものとみなす。

第4章 役員

(役員)

第8条 本会に、次の役員をおく。

(1) 会長 1名

(2) 副会長 3名

(3) 常任幹事 17名

(4) 幹事 25名以内

(5) 会計監査 3名

(役員の選出)

第9条 本会の役員は、総会において選任する。

2 副会長は、横須賀市内の消防署（以下「消防署」という。）管轄区域（以下「ブロック」という。）からそれぞれ1名ずつ選任する。

3 常任幹事は各ブロックから4名ずつ選任し、これに消防局予防課長及び同課係長1名並びに各消防署係長1名ずつを加えたものとする。

(役員の任期)

第10条 役員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 役員となった会員が、会員でなくなったときは、その資格を失う。

3 役員に欠員を生じたときは、役員会において補欠役員を選出する。

4 補欠役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員の職務)

第11条 会長は本会を代表して会務を総理する。

2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、会長があらかじめ指名した順序によりその職務を行う。

3 常任幹事及び幹事は、本会予算及び行事の立案その他決議事項の実践にあたりとともに、常任幹事のうち1名が会計を担当する。

4 会計監査は本会の会計を監査する。

(顧問)

第12条 本会に顧問をおく。

2 顧問は、消防局長及び消防署長、会長を退いた者並びに市内学識経験者の中から、役員会に諮り会長が委嘱する。

3 顧問は、会長の諮問に応じて会議に出席し、意見を述べることができる。

第5章 会議

(会議)

第13条 本会の会議を分けて次のとおりとし、会長が招集する。

(1) 総会

(2) 役員会

(3) 常任幹事会

2 前項各号の会議について、重大な感染症のまん延防止措置等のため会長が必要と認めた場合は、映像と音声の送受信により相手の状態を相互に認識しながら通話を行うことができる方法（以下「オンライン」という。）の活用又は書面会議（議案書を参加者に送付し、書面議決書により可否を問う会議形式をいう。）により開催することができる。

(総会)

第14条 総会は、毎年1回開催する。ただし、会長が特に必要と認めた場合は臨時に開催することができる。

2 総会は、次に掲げる事項を審議決定する。

- (1) 予算及び決算に関すること。
- (2) 事業計画に関すること。
- (3) 会則及び規程の改廃に関すること。
- (4) その他本会の運営上必要な事項。

3 総会は、会員総数の過半数の出席（オンラインによる出席又は書面議決書の提出を含む。以下同じ。）をもって成立する。

(役員会)

第15条 役員会は、年2回及び会長が特に必要と認めた場合に開催し、常任幹事会において採択又は立案した重要事項その他を審議決定する。

2 役員会は、第8条に定める役員をもって構成する。

(常任幹事会)

第16条 常任幹事会は、年3回以上開催し、本会事業の企画及び執行に関する事項を審議する。

2 常任幹事会は、会長、副会長及び常任幹事（以下「常任幹事等」という。）をもって構成する。

(会議の招集及び議決)

第17条 総会を招集しようとするときは、開会7日前までに、会員に対し会議の目的、日時、場所及び議案の要旨を通知しなければならない。

2 役員会を招集しようとするときは、開会3日前までに、役員に対し会議の目的、日時、場所及び議案の要旨を通知しなければならない。ただし、緊急の場合にはこの限りでない。

3 常任幹事会を招集しようとするときは、開会3日前までに、常任幹事等に対し会議の目的、日時、場所及び議案の要旨を通知しなければならない。ただし、緊急の場合にはこの限りでない。

4 会議の招集を受けて欠席するときは、会議1日前までに会長に届け出るものとする。

5 会議の議長は会長とする。

6 議事は出席者の過半数をもって決め、可否同数なるときは、議長の決するところによる。

第6章 ブ ロ ッ ク

(ブロック)

第18条 第2条の目的を円滑に遂行するため、会員をその所在地に応じてブロックごとに区分し、活動の基礎単位とする。

2 各ブロックの名称は、その区域を管轄する消防署の名称を冠したものとする。

3 本会が行う事業のうち、火災予防啓発活動等に係るものを行うときは、ブロック単位で活動することを原則とする。

(ブロック長等)

第19条 各ブロックにブロック長1名及び副ブロック長2名以内をおく。

2 ブロック長は、当該区域に所在する副会長をもって充てる。

3 副ブロック長は、当該区域に所在する常任幹事からブロック長が指名する。

(ブロック長等の職務)

第20条 ブロック長は、本会の事業におけるブロックの活動を統括する。

2 副ブロック長はブロック長を補佐し、ブロック長に事故あるときは、ブロック長があらかじめ指名した順序によりその職務を行う。

第7章 会 計

(経 費)

第21条 本会の経費は、会費、事業収入、寄付金及びその他の収入をもってこれに充てる。

(会計年度)

第22条 本会の会計年度は、毎年4月1日より翌年3月31日までとする。

(決 算)

第23条 会長は、毎会計年度の終わりに次の書類を作成し総会に提出しなければならない。

(1) 事業報告書

- (2) 事業計画書
- (3) 決算書
- (4) 予算書

第8章 雑 則

(書 類)

第24条 本会に備える書類は、次のとおりとする。

- (1) 会員名簿
 - (2) 金銭出納簿
 - (3) 備品台帳
 - (4) 関係書類
- (規程への委任)

第25条 第6条に定めるほか、慶弔、表彰その他の事業を行なうため必要な事項は規程で定める。

2 規程の改正は、総会の議決を経て定める。

付 則 (平成23年5月11日)

- 1 この会則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 昭和41年5月23日施行の横須賀市危険物安全協議会会則はこれを廃止する。

付 則 (平成24年4月23日)

- 1 この改正会則は、公布の日から施行する。

付 則 (令和元年5月15日)

- 1 この改正会則は、公布の日から施行する。

付 則 (令和4年5月12日)

- 1 この改正会則は、公布の日から施行する。

付 則 (令和7年5月13日)

- 1 この改正会則は、公布の日から施行する。

横須賀危険物安全協会 役員名簿

令和8年9月30日現在

役職名	代表者氏名	役員等氏名	事業所名	所在地	ブロック	備考
会長	大庭 大	大庭 大	湘南菱油株式会社	森崎 1-5-24		
副会長	八巻 敏博	八巻 敏博	八巻興業株式会社	大滝町 1-18	中央	ブロック長
副会長	竹原 永郎	榊本 心	日産自動車株式会社追浜工場	夏島町 1	北	ブロック長
副会長	高橋 拓海	高橋 拓海	有限会社津久井浜商事	津久井 2-3-7	南	ブロック長
常任幹事	井出 城二郎	井出 城二郎	株式会社井出運輸商事	佐野町 1-10	中央	副ブロック長
常任幹事	阿部 厚三	阿部 吉朗	社会福祉法人阿部睦会 共楽荘	衣笠栄町 4-14	中央	副ブロック長
常任幹事	中村 賢二	宇佐美 智史	東邦化学工業株式会社 追浜工場	浦郷町 5-2931	北	副ブロック長
常任幹事	永田 健二	松澤 公司	東芝ライテック株式会社	船越町 1-201-1	北	副ブロック長
常任幹事	山岡 景一郎	丸岡 敬典	池内精工株式会社	久里浜 1-19-1	南	副ブロック長
常任幹事	山崎 肇	蓮池 充	株式会社グローバル・ニュー クリア・フュエル・ジャパン	内川 2-3-1	南	副ブロック長
常任幹事	小菅 君明	我妻 和也	横須賀市東部漁業協同組合 横須賀支所	平成町 3-4	中央	
常任幹事	岡田 伸浩	織川 武光	株式会社横浜岡田屋 横須賀モアーズシティ	若松町 2-30	中央	
常任幹事	森 瀧生	山川 芳晴	株式会社富士オイル	夏島町 6	北	
常任幹事	井上 智史	松本 和幸	住友重機械工業株式会社 横須賀製造所	夏島町 19	北	
常任幹事	石黒 和之	石黒 和之	同和化学株式会社	内川 1-4-17	南	
常任幹事	山田 寛之	高橋 誠	一般財団法人電力中央研究所 横須賀運営センター	長坂 2-6-1	南	
常任幹事		中村 哲	横須賀市消防局予防課		事務局	事務局長
常任幹事		梅村 貴明	横須賀市消防局予防課		事務局	書記
常任幹事		鈴木 真	横須賀市中央消防署		中央	
常任幹事		藤本 亮一	横須賀市北消防署		北	
常任幹事		大澤 和巳	横須賀市南消防署		南	
幹事	小林 一樹	中島 薫	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院	米が浜通 1-16	中央	
幹事	鹿島 勇	菅原 光則	学校法人神奈川歯科大学	稲岡町 82	中央	

役職名	代表者氏名	役員等氏名	事業所名	所在地	ブロック	備考
幹事	大庭 大	大場 雅史	湘南菱油株式会社	森崎 1-5-24	中央	
幹事	柴田 朋彦	池田 俊一	社会福祉法人聖テレジア会 聖ヨゼフ病院	緑が丘 28	中央	
幹事	古川 真	野村 欽也	東京ファインケミカル株式会社 横須賀工場	夏島町 2873-8	北	
幹事	山田 大樹	山浦 敬和	株式会社やまびこ 横須賀事業所	夏島町 14	北	
幹事	鈴木 稔	中村 太郎	相模運輸倉庫株式会社	田浦港町無番地	北	
幹事	舩井 秀宣	沼田 剛	医療法人徳洲会 湘南病院	鷹取 1-1-1	北	
幹事	谷川 昇	武 直樹	馬淵物流株式会社	浦郷町 5-2931-27	北	
幹事	今野 隆弘	進藤 裕二	シンジーテック株式会社 横須賀事業場	浦郷町 5-2931	北	
幹事	岡 昌信	岡 昌信	岡タクシー有限会社	根岸町 3-5-10	南	
幹事	益子 陽一	益子 陽一	株式会社三春商会	森崎 1-18-24	南	
幹事	進藤 覚	榎本 絵美	生化学工業株式会社 久里浜工場	久里浜 9-3-1	南	
幹事	岡村 隆一郎	二階堂 示範	社会福祉法人日本医療伝道会 総合病院 衣笠病院	小矢部 2-23-1	南	
幹事	大庭 大	川村 昌也	湘南菱油株式会社	森崎 1-5-24	南	
幹事	高橋 哲也	高橋 哲也	株式会社下浦石油	野比 2-33-16	南	
幹事	塚田 拓道	石山 隆二	株式会社 J E R A 横須賀火力発電所	久里浜 9-2-1	南	
幹事	井上 智史	福永 安雄	住友重機械工業株式会社 横須賀製造所 浦賀工場	浦賀 4-7-1	南	
会計監査	西村 安彦	中川 陽一	株式会社西村企業冠婚事業部 よこすか平安閣	本町 1-4	中央	
会計監査	長谷川 貴彦	小櫃 勝利	株式会社オカムラ追浜事業所	浦郷町 5-2944-1	北	
会計監査	宮崎 武士	小橋 浩輔	関東化成工業株式会社	池田町 4-4-1	南	
顧問		小山 幸男	横須賀市消防局長			
顧問		木村 兼一	横須賀市中央消防署長		中央	
顧問		佐野 孝治	横須賀市北消防署長		北	
顧問		杉森 明雄	横須賀市南消防署長		南	

横須賀危険物安全協会 会員名簿

令和8年9月30日現在

No.	会 員 名 称	所 在 地	代表者氏名	ブ ロ ッ ク
1	インペリアル株式会社	米が浜通 1-17	小野関 日出夫	中央
2	有限会社泉商会 やすらぎ温泉	平作 1-2-20	泉 徳治	中央
3	株式会社イトマンスイミングスクール	日の出町 3-11	永瀬 昭幸	中央
4	有限会社井出石油 平成町エコステーション	平成町 2-10-2	井出 城二郎	中央
5	有限会社いわて防災	不入斗町 2-3-2	斉藤 順也	中央
6	有限会社飯塚慎治郎商店	坂本町 2-31	飯塚 進一郎	中央
7	株式会社井出運輸商事	佐野町 1-10	井出 城二郎	中央
8	有限会社大津はっとり	大津町 1-13-11	服部 雄吉	中央
9	岡田電機工業株式会社	三春町 2-32	岡田 英城	中央
10	湘南菱油株式会社 セルフDDオートサービス湘南SS	安浦町 2-3-5	大庭 大	中央
11	有限会社亀田商店	佐野町 1-14	亀田 知明	中央
12	学校法人神奈川歯科大学	稲岡町 82	鹿島 勇	中央
13	社会福祉法人阿部睦会 共楽荘	衣笠栄町 4-14	阿部 厚三	中央
14	衣笠石油株式会社 上町給油所	上町 3-1	浅羽 雄一	中央
15	特別養護老人ホーム 恵徳苑	日の出町 1-9-1	中野 登喜夫	中央
16	有限会社小山防災	坂本町 1-34	小山 哲史	中央
17	株式会社さいか屋 横須賀店	大滝町 1-13	山本 正太	中央
18	有限会社佐藤クリーニング店	上町 3-6	佐藤 明美	中央
19	株式会社シュテルン世田谷	佐原 4-9-3	坂東 徹行	中央
20	湘南菱油株式会社 セルフDD日の出町営業所	日の出町 3-1	大庭 大	中央
21	昭和礦油株式会社 セルフ横須賀中央サービスステーション	大滝町 1-5-1	熊澤 一郎	中央
22	昭和礦油株式会社 セルフ馬堀海岸サービスステーション	馬堀海岸 4-3-1	熊澤 一郎	中央
23	湘南ダイハツ株式会社	安浦町 2-5-1	菅原 康仁	中央
24	湘南信用金庫	大滝町 2-2	鷺尾 精一	中央

No.	会 員 名 称	所 在 地	代表者氏名	ブ ロ ッ ク
25	鈴喜工業株式会社	三春町 2-10	田島 陽一	中央
26	株式会社セントラルホテル	若松町 2-8	野崎 司	中央
27	有限会社セイキ印刷所	大津町 1-17-51	小菅 信行	中央
28	社会福祉法人聖テレジア会 聖ヨゼフ病院	緑が丘 28	柴田 朋彦	中央
29	有限会社大洋興業運送	池上 3-4-29	三浦 美登里	中央
30	秩父屋吉岡米酒店	大津町 3-31-1	吉岡 正文	中央
31	東京ガスライフバル飯田株式会社	三春町 3-9-11	杉浦 誠	中央
32	株式会社東洋ランドリー	三春町 3-1	野中 ノブ	中央
33	トヨタモビリティ神奈川 横須賀店	三春町 2-18-1	齊藤 智岳	中央
34	株式会社西村企業冠婚事業部 よこすか平安閣	本町 1-4	西村 安彦	中央
35	株式会社花崎造船所	平成町 3-18	吉田 春樹	中央
36	芙蓉交通株式会社	内川 1-7-65	八木 達也	中央
37	株式会社ホテルパレス	若松町 1-11	大田 順子	中央
38	合資会社三浦ドライクリーニング店	深田台 75	三浦 勝雄	中央
39	公益財団法人三笠保存会	稲岡町 82-19	井上 力	中央
40	三浦学苑高等学校	衣笠栄町 3-80	吉田 和市	中央
41	株式会社明和設備工業	大津町 2-5-3 明和ビル 2 階	大山 陽史	中央
42	メルキュールホテル横須賀	本町 3-27	吉住 尚人	中央
43	八巻興業株式会社	大滝町 1-18	八巻 敏博	中央
44	株式会社ヨーセン	安浦町 2-8	小野寺 映	中央
45	株式会社横浜岡田屋 横須賀モアーズシティ	若松町 2-30	岡田 伸浩	中央
46	学校法人横須賀学院	稲岡町 82	保々 和宏	中央
47	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院	米が浜通 1-16	小林 一樹	中央
48	横須賀市東部漁業協同組合 横須賀支所	平成町 3-4	小菅 君明	中央
49	横須賀タクシー株式会社	米が浜通 2-6	外崎 信一	中央
50	横須賀興産株式会社	日の出町 3-13	富田 豊	中央

No.	会 員 名 称	所 在 地	代表者氏名	ブ ロ ッ ク
51	横須賀石油株式会社	安浦町 1-2	丸山 智子	中央
52	株式会社ライフライン岩崎	三春町 3-8	岩崎 重次	中央
53	臨港タクシー株式会社	汐入町 1-7	市川 壽一	中央
54	曙機械株式会社	田浦港町無番地	竹永 達也	北
55	株式会社青木製作所	浦郷町 5-2931	小岩井 豊己	北
56	有限会社安西商店	追浜東町 3-22	安西 大明	北
57	アディエント合同会社 追浜工場	夏島町 17	大川 浩一郎	北
58	有限会社石川店	田浦町 4-16	石川 稔	北
59	株式会社イシカワ製作所	浦郷町 5-2931	石川 光昭	北
60	いずみサポート株式会社 神奈川支社	夏島町 19	保井 健太郎	北
61	上原塗装工業株式会社	追浜本町 2-1-133	上原 誠	北
62	エア・ウォーター・グリーンデザイン株式会社 追浜ガスセンター	夏島町 19	今津 賢治	北
63	株式会社大浜鉄工所	夏島町 15	富澤 啓介	北
64	有限会社追浜製作所	追浜本町 1-93	小山 嘉一	北
65	追浜工業株式会社	夏島町 14-2	三澤 幸一	北
66	株式会社オカムラ追浜事業所	浦郷町 5-2944-1	長谷川 貴彦	北
67	株式会社香取屋商店	西逸見町 2-1	小林 正明	北
68	合資会社蒲谷商店	追浜町 2-14	蒲谷 晃	北
69	株式会社北村商会	田浦町 6-46	北村 理和子	北
70	京浜ドック株式会社 追浜工場	浦郷町 1-65	小澤 敏也	北
71	京浜発條株式会社	浦郷町 5-2931	片平 修一	北
72	京浜急行バス株式会社 追浜営業所	夏島町 2873-12	池田 英世	北
73	有限会社桜井商店	吉倉町 1-101	桜井 邦洋	北
74	相模運輸倉庫株式会社	田浦港町無番地	鈴木 稔	北
75	サカエ株式会社	船越町 1-14	松浦 弘幸	北
76	有限会社島原米酒店	鷹取 2-7-1	島原 健	北

No.	会 員 名 称	所 在 地	代表者氏名	ブ ロ ッ ク
77	医療法人徳洲会 湘南病院	鷹取 1-1-1	舩井 秀宣	北
78	シンジーテック株式会社 横須賀事業場	浦郷町 5-2931	今野 隆弘	北
79	湘南菱油株式会社 セルフDD田浦営業所	田浦町 2-82	大庭 大	北
80	株式会社住本科学研究所	夏島町 15-8	澁谷 勇	北
81	住友重機械工業株式会社 横須賀製造所	夏島町 19	井上 智史	北
82	株式会社ゼロ・プラス関東 追浜カスタマーサービスセンター	夏島町 2-9	小針 晃司	北
83	株式会社タケエイグリーンリサイクル	浦郷町 5-2931-15	秋庭 勉	北
84	有限会社たけふじ（セブンイレブン船越店）	船越町 1-50	武藤 修儀	北
85	株式会社エフビット横須賀パワー	浦郷町 5-2931-70	山崎 剛	北
86	東芝ライテック株式会社	船越町 1-201-1	永田 健二	北
87	東京ファインケミカル株式会社 横須賀工場	夏島町 2873-8	古川 真	北
88	東邦化学工業株式会社 追浜工場	浦郷町 5-2931	中村 賢二	北
89	夏島運輸株式会社	浦郷町 5-2931-68	近藤 智平	北
90	日神機工株式会社 横須賀営業所	浦郷町 5-2931-6	柳 康弘	北
91	日本和紡興業株式会社	浦郷町 5-3142	脊山 幹生	北
92	日本プラスチック・テクノロジーズ株式会社 神奈川工場	夏島町 2873-7	鈴木 秀雄	北
93	日産自動車株式会社追浜工場	夏島町 1	竹原 永郎	北
94	日産自動車株式会社 総合研究所	夏島町 1	渋谷 祐一	北
95	日触物流株式会社 追浜営業所	夏島町 2873	宮本 誠一	北
96	株式会社バンテックセントラル 追浜営業所	夏島町 2873-15	岩澤 克美	北
97	深田サルベージ建設株式会社 横須賀基地	田浦港町無番地	末平 哲也	北
98	船越タクシー株式会社	船越町 1-55	関 進	北
99	株式会社富士オイル	夏島町 6	森 瀧生	北
100	堀硝子株式会社 横須賀事業所	田浦港町 1429-6	古瀬 明義	北
101	馬淵物流株式会社	浦郷町 5-2931-27	谷川 昇	北
102	株式会社マルヤマ	横浜市磯子区磯子 3-1-40	坂口 高雄	北

No.	会 員 名 称	所 在 地	代表者氏名	ブ ロ ッ ク
103	プラウドライフ株式会社 はなことば追浜	追浜町 1-1-11	藺田 宏	北
104	三野商店	田浦町 3-38	三野 明信	北
105	美豊商事株式会社 関東第2営業所	浦郷町 5-2931 トヨタ自動車東日本(株)内	國弘 晴睦	北
106	株式会社柳田エンジニアリング	追浜本町 2-43	柳田 政之	北
107	株式会社やまびこ 横須賀事業所	夏島町 14	山田 大樹	北
108	ユニプレス株式会社 栃木工場追浜	夏島町 1	田上 一義	北
109	一般社団法人横須賀市歯科医師会	西逸見町 1-38-11 ウェルシティ市民プラザ2階	松本 好史	北
110	株式会社YDKテクノロジーズ 横須賀工場	浦郷町 1-60-15	福本 元彦	北
111	横須賀生コンクリート株式会社	船越町 1-284	新倉 成是	北
112	リカーショップいしがみ	吉倉町 1-83	石神 典枝	北
113	有限会社レストランマミー	横浜市金沢区瀬戸 13-9 鈴木方	小泉 恒子	北
114	株式会社アセント (JXTG エネルギー株式会社 Enejet たけやま SS)	川崎市川崎区 東田町 2-11	堀内 資公	南
115	有限会社明浜石油 久里浜給油所	久里浜 4-13-8	大川 真一	南
116	株式会社アド・マインド	佐原 1-5-16	落合 伸一	南
117	有限会社井出鋳金	舟倉 2-3-23	井出 直人	南
118	池内精工株式会社	久里浜 1-19-1	山岡 景一郎	南
119	有限会社井出石油 森崎給油所	森崎 1-9-20	井出 城二郎	南
120	岡タクシー有限会社	根岸町 3-5-10	岡 昌信	南
121	荻野化成株式会社	内川 1-6-4	荻野 圭輔	南
122	有限会社大城水産運輸	平成町 3-5-1	菱沼 国男	南
123	株式会社金澤紙業 久里浜事業所	内川 1-7-6	金澤 基彦	南
124	株式会社門倉商店	久里浜 1-2000	佐藤 大輔	南
125	神奈川三菱ふそう自動車販売株式会社	根岸町 3-5-12	渋谷 尚秀	南
126	関東化成工業株式会社	池田町 4-4-1	宮崎 武士	南
127	有限会社片倉商店	芦名 1-13-17	片倉 克則	南
128	グッドライフサーラ関東株式会社南関東支店 横須賀営業所	武 1-3-12	藤城 賢司	南

No.	会 員 名 称	所 在 地	代表者氏名	ﾌﾞﾛｯｸ
129	株式会社協同牛乳	森崎 1-17-23	飯島 義廣	南
130	社会福祉法人日本医療伝道会 総合病院 衣笠病院	小矢部 2-23-1	岡村 隆一郎	南
131	社会福祉法人日本医療伝道会 特別養護老人ホーム 衣笠ホーム	芦名 2-4-1	阿部 誠	南
132	久里浜石油有限会社 久里浜 S S	久里浜 4-20-9	小川 英哉	南
133	株式会社久里浜中央会館 久里浜中央自動車学校	久里浜 5-13-1	鈴木 康仁	南
134	株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン	内川 2-3-1	山崎 肇	南
135	京浜急行電鉄株式会社金沢文庫保線区 (久里浜工場)	舟倉 2-4-1	濱田 伸一	南
136	京浜急行バス株式会社 久里浜営業所	長瀬 2-11-1	奥山 康浩	南
137	京浜急行バス株式会社 衣笠営業所	衣笠栄町 3-1-4	山本 健一	南
138	京浜急行電鉄株式会社 久里浜工場	舟倉 2-4-1	金山 裕二	南
139	株式会社京急百貨店 ウィング久里浜	久里浜 4-4-10	舟越 通恭	南
140	源仲商店	長沢 2-17-3	高橋 和則	南
141	宗教法人最寶寺	野比 1-51-1	鎌倉 広文	南
142	佐島マリーナ株式会社	佐島 3-7-4	菅原 啓之	南
143	サカエ株式会社 久里浜油槽所	長瀬 3-6-1	松浦 弘幸	南
144	株式会社サンユウ防災	久里浜 7-11-12	竹内 良一	南
145	有限会社サンリツ防災	根岸町 4-8-21	外木 祥司	南
146	株式会社湘南マツダ 横須賀店	森崎 1-10-28	青山 敏幸	南
147	社会福祉法人三育福祉会 特別養護老人ホーム シャローム	走水 1-35	上田 健	南
148	株式会社下浦石油	長井 3-23-20	高橋 哲也	南
149	昭和礦油株式会社 セルフ浦賀サービスステーション	浦賀 3-20-2	熊沢 一郎	南
150	湘南サニーサイドマリーナ株式会社	芦名 1-17-8	羽柴 宏昭	南
151	湘南環浄サービス株式会社 本社営業所	長井 1-23-11	秋本 祐孝	南
152	湘南菱油株式会社 セルフ D D 1 3 4 久里浜営業所	久里浜 3-10-10	大庭 大	南
153	湘南菱油株式会社 セルフ D D 佐原営業所	佐原 1-9-16	大庭 大	南
154	湘南菱油株式会社 セルフ D D 長坂営業所	長坂 3-9-11	大庭 大	南

No.	会 員 名 称	所 在 地	代表者氏名	ブ ロ ッ ク
155	湘南菱油株式会社	森崎 1-5-24	大庭 大	南
156	住友重機械工業株式会社 横須賀製造所 浦賀工場	浦賀 4-7-1	井上 智史	南
157	関矢産業株式会社 横須賀ドライビングスクール	舟倉 1-16-1	関矢 和吉	南
158	生化学工業株式会社 久里浜工場	久里浜 9-3-1	進藤 覚	南
159	株式会社田沼タイル店	根岸町 5-17-28	田沼 啓正	南
160	有限会社高橋商店	久里浜 1-2000-51	高橋 力也	南
161	田中石材土木株式会社	長坂 3-10-13	田中 博之	南
162	千代田商事株式会社	内川 2-2-11	福西 定敏	南
163	有限会社津久井浜商事	津久井 2-3-7	高橋 拓海	南
164	株式会社ディ・アイ・オー企画 葉山ホテル音羽ノ森	秋谷 5596-1	與田 有希子	南
165	一般財団法人電力中央研究所 横須賀運営センター	長坂 2-6-1	山田 寛之	南
166	東洋観光株式会社 横須賀営業所	久里浜 7-6-1	小堀 朋繁	南
167	株式会社 J E R A 横須賀火力発電所	久里浜 9-2-1	塚田 拓道	南
168	東光商事株式会社	根岸町 2-33-1 東光商事ビル	藤村 昌一	南
169	同和化学株式会社	内川 1-4-17	石黒 和之	南
170	長井町漁業協同組合	長井 5-24-6	小澤 紳一郎	南
171	日産神奈川販売株式会社 横須賀池田店	池田町 4-5-13	下藤 友快	南
172	沼家生コンクリート株式会社	森崎 1-9-25	沼田 正	南
173	医療法人社団 聖ルカ会 パシフィックホスピタル	野比 5-7-2	猪狩 康裕	南
174	社会福祉法人 富士美 高齢者総合福祉センター ヒューマン	佐島 3-12-15	富所 不二枝	南
175	平川宇部生コンクリート株式会社	長瀬 3-10-5	平川 誠一郎	南
176	双葉石油株式会社 DDトライアングル衣笠NTSS	山科台 10-1	猪股 清	南
177	株式会社富士オイル セルフステーションあわた	栗田 2-1-1	森 瀧生	南
178	株式会社富士オイル セルフステーション久里浜	舟倉 1-14-9	森 瀧生	南
179	株式会社平和商会	森崎 1-19-27	岩堀 能久	南
180	株式会社北斗工業	芦名 2-8-32	山口 次郎	南

No.	会 員 名 称	所 在 地	代表者氏名	ブ ロ ッ ク
181	株式会社マスタ	根岸町 4-21-13	山地 孝征	南
182	株式会社ユニマットプレシヤス	西浦賀 4-11-5	高橋 洋二	南
183	増田商事株式会社 衣笠インターチェンジSS	小矢部 3-6-6	増田 英彰	南
184	有限会社松島防災	衣笠栄町 4-5	松島 清悟	南
185	株式会社三春商会	森崎 1-18-24	益子 陽一	南
186	森防災有限会社	武 3-5-35	森 克敏	南
187	入野機工株式会社	光の丘 7-3	入野 紀子	南
188	株式会社ヤマリア	神明町 1-41	河原 也寸志	南
189	社会福祉法人栗山会 特別養護老人ホーム やまびこ荘	武 3-39-2	栗田 敏彦	南
190	株式会社山本バーナー工業	公郷町 2-2	山本 博	南
191	横須賀市東部漁業協同組合 浦賀久比里支所	久比里 2-6-10	飛松 正幸	南
192	横浜製機株式会社	内川 1-8-31	関根 宗平	南
193	株式会社ヨコソー	森崎 1-17-18	佐藤 幹男	南
194	有限会社横須賀九十会	栗田 1-39-9	山田 善久	南
195	横須賀市東部漁業協同組合 鴨居支所	鴨居 2-31-7	飛松 正幸	南
196	横須賀市東部漁業協同組合 走水大津支所	走水 2-698-4	長塚 博久	南
197	横須賀市東部漁業協同組合 久里浜支所	久里浜 8-9-5	榎本 幸司	南
198	湘南漁業協同組合 佐島支所	佐島 3-5-1	福本 憲治	南
199	横須賀地区貨物自動車協同組合	森崎 1-16-11	立川 明彦	南
200	よこすか葉山農業協同組合	久里浜 1-17-10	龍崎 智	南

創立 60 周年記念事業実行委員会 委員名簿

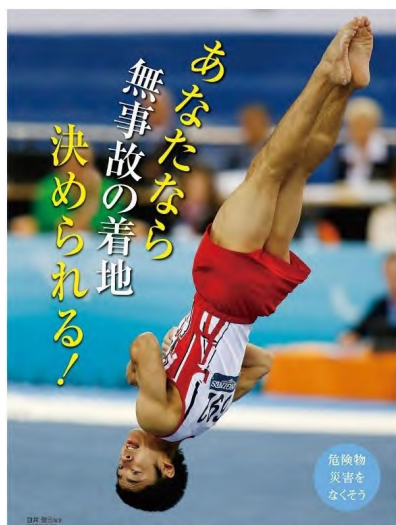
委 員 長	湘南菱油株式会社	大庭 大
副委員長	八巻興業株式会社	八巻 敏博
〃	日産自動車株式会社追浜工場	榊本 心
〃	有限会社津久井浜商事	高橋 拓海
委 員	株式会社横浜岡田屋 横須賀モアーズシティ	織川 武光
〃	東邦化学工業株式会社追浜工場	宇佐美 智史
〃	同和化学株式会社	石黒 和之
〃	横須賀市消防局予防課	中村 哲
〃	横須賀市中央消防署	鈴木 真
〃	横須賀市北消防署	藤本 亮一
〃	横須賀市南消防署	大澤 和巳
書 記	横須賀市消防局予防課	梅村 貴明
事 務 局	横須賀市消防局予防課	松下 大悟 (宮川 洋貴)

※ () は前任者の氏名を示す。

(検討経過)

令和 7 年	5 月 13 日	第 60 回総会 創立 60 周年記念事業実行委員会発足
〃	7 月 10 日	第 1 回実行委員会
〃	12 月 18 日	第 2 回実行委員会
令和 8 年	3 月 18 日	第 3 回実行委員会
〃	5 月 15 日	第 4 回実行委員会 (書面会議)
〃	5 月 22 日	第 61 回総会 創立 60 周年記念式典および祝賀会
〃	7 月 9 日	第 5 回実行委員会 (書面会議)
〃	9 月 14 日	第 6 回実行委員会 (〃)

危険物安全週間推進ポスター（平成29年度～令和7年度）



消防庁／都道府県／市町村／全国消防長会／一般財団法人全国危険物安全協会
（このポスターは、関係機関と共同で制作・配布しております。）



消防庁／都道府県／市町村／全国消防長会／一般財団法人全国危険物安全協会
（このポスターは、関係機関と共同で制作・配布しております。）



消防庁／都道府県／市町村／全国消防長会／一般財団法人全国危険物安全協会
（このポスターは、関係機関と共同で制作・配布しております。）



消防庁／都道府県／市町村／全国消防長会／一般財団法人全国危険物安全協会
（このポスターは、関係機関と共同で制作・配布しております。）



消防庁／都道府県／市町村／全国消防長会／一般財団法人全国危険物安全協会
（このポスターは、関係機関と共同で制作・配布しております。）



消防庁／都道府県／市町村／全国消防長会／一般財団法人全国危険物安全協会
（このポスターは、関係機関と共同で制作・配布しております。）



消防庁／都道府県／市町村／全国消防長会／一般財団法人全国危険物安全協会
（このポスターは、関係機関と共同で制作・配布しております。）



消防庁／都道府県／市町村／全国消防長会／一般財団法人全国危険物安全協会
（このポスターは、関係機関と共同で制作・配布しております。）



消防庁／都道府県／市町村／全国消防長会／一般財団法人全国危険物安全協会
（このポスターは、関係機関と共同で制作・配布しております。）



横須賀危険物安全協会
創立 60 周年記念誌

発行	令和 8 年 9 月 30 日
発行者	横須賀危険物安全協会
	会長 大庭 大
	横須賀市小川町 11 番地
	横須賀市消防局予防課内
	電話 046-821-6469